

OS  
交配

# ゆうゆうー輝

## ブルームレス台木用南瓜

白タイプ

早生性とスタミナで  
差をつける

黒タイプ

パワーとスタミナで  
差をつける

もっと丈夫で長持ち  
もっと良果で多収穫



株式会社 埼玉原種育成会

OS  
交配

# ゆうゆう一輝 (白タイプ)

早生性とスタミナで  
差がつく満足栽培

短日、弱光線、低地温条件下でも草勢強く、果の肥大も良く初期から多収で満足、根張り良くウドンコ病、灰色カビ病等の耐病性向上で満足。

## 特性

- 胚軸が新土佐南瓜並に太く、長目で、空洞の発達も少なく接木し易い。(接木が容易で活着率高い)
- きゅうりとの組織親和性が高いので活着率が高く、活着ムラによる苗の生育差が出にくい。(成苗率高い)
- 貝割葉は、大きめで厚く、接木直後から同化養分量が多く、活着がスムーズで育苗初期にムシ込んでもムレにくい。(貝割葉ムレにくい)
- 活着率は高く早いので、初期から根量が多く、根張りが強い。(頑丈な根張り)
- 育苗期・定植活着期・さらに定植後の生育がスムーズとなるため、徒長しにくく、太めで程良い長さの良質な枝が間断なく発生する。(徒長しにくく、良質枝の発生)
- 着生した果の肥大は早く、初期から多収となり、栽培が長期化しても強い草勢のまま安定しているので、秀品率が高く、総収量は極めて多くなる。(早生でも旺盛、超多収)
- 頑強な根張りから、ウドンコ病、灰色カビ病等の耐病性が向上する。(耐病性向上)

## 「ゆうゆう一輝」台木の使い分け

### ■ ゆうゆう一輝 (白タイプ)

- 地下水が高いハウスの人
- 地力が十分あるハウスの人
- 枝の発生が早く旺盛になりやすい人
- 樹が軟らかくできやすい人
- 厳寒期に旺盛になり果実の肥大が遅れがちの人
- 春先から初夏に枝が伸び急ぎ、手入れの間に合わない人
- ハウス内の湿度が常に多めの人
- 軟質ビニールでカマボコ型ハウスの人
- 屋根が低く、温度の抜けにくいハウスの人
- 労力が不十分で、省力的に栽培したい人
- 胚軸が太く、長めで接木作業しやすさを求める人

### ■ ゆうゆう一輝 (黒タイプ)

- 地下水が低いハウスの人
- 地力が不十分なハウスの人
- 枝の発生が少ない、または遅れやすい人
- 樹が硬くできやすい人
- 厳寒期に枝が伸びにくくなる人
- 春先から初夏に小葉になりやすい人
- 春先から初夏に枝が伸びにくくなる人
- 春先から初夏に短形果になりやすい人
- ハウス内が乾燥しやすい人
- 硬質ビニールやガラス温室で屋根型のハウスの人
- 屋根が高く、温度の保ちにくいハウスの人

OS  
交配

# ゆうゆう一輝 (黒タイプ)

パワーとスタミナで  
差がつく安心栽培

長期作での草勢維持が容易で、芯が止まらず、しっかりした生育で安心、根張り良くウドンコ病、灰色カビ病等の耐病性向上で安心。

## 特 性

- 接木時の胚軸太く、空洞の発達が少ない、そのため接木時の胚軸の断面積（空洞を除いた部分）が大きくかためなので接木し易い。 (接木が容易で活着率高い)
- きゅうりとの組織親和性が高いので活着率が高く、活着ムラによる苗の生育差が出にくい。 (成苗率高い)
- 貝割葉は、小さめで厚く、接木直後から同化養分量が多く、活着がスムーズで育苗初期にムシ込んでもムレにくい。 (貝割葉ムレにくい)
- 活着率は高く早いので、初期から根量が多く、根張りが強い。 (頑強な根張り)
- 育苗期・定植活着期・さらに定植後の生育がスムーズとなるため、徒長しにくく、太めで程良い長さの良質な枝が間断なく発生する。 (徒長しにくく、良質枝の発生)
- 厳寒期や栽培が長期化した後も強い草勢のまま安定しているので、芯が止まったり短型果になったりせずに秀品率が高く、総収量は極めて多くなる。 (旺盛維持、超多収)
- 頑強な根張りから、ウドンコ病、灰色カビ病等の耐病性が向上する。 (耐病性向上)

戦い終わって  
軸や根の太さと活力が、実績の証明

ゆうゆう一輝

従来のブルームレス台木

9月播種 同一圃場で翌年6月初旬迄栽培 (宮崎県内)

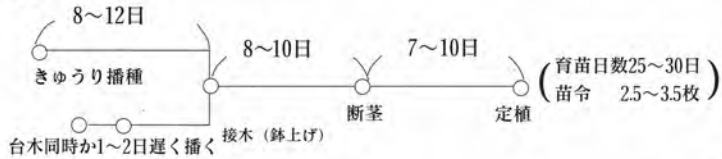


## 栽培ポイント

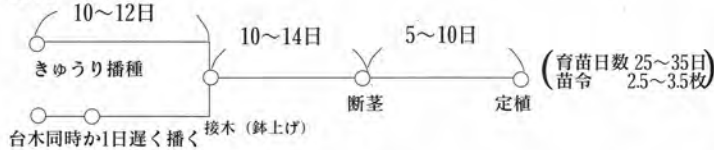
■キュウリ全品種、全国、全作型に適する。

### 1. 播種間隔と日数（呼び接ぎ）

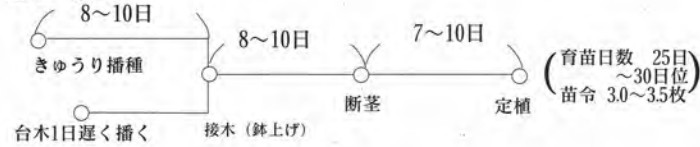
○9～11月まき



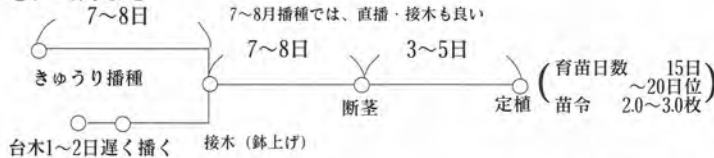
○12～3月まき



○4～6月まき



○7～8月まき



- 播種床土は6cm位の厚さ、黒ダネ、ウルトラ台木同様播種間隔を広くする。種子は水に浸したり、濡らさずに乾いたまま播種する。覆土は種子が見えなくなる位、適湿を保ち過湿にならぬよう注意する。排水、保水の良い土に灌水し、その上に新聞紙をマルチすると良い条件が保てる。
- 発芽適地温は昼夜とも28℃～30℃を確保する。発芽後は徒長しないように速やかに新聞紙マルチを除去（黒タイプは黒ダネの様に、発芽後新聞紙等の覆いを取り除くのは、胚軸の長さが2～3cm位伸ばしてから行くと良い。）、日ヤケに注意しながら陽光にあてる。冬期は発芽が揃ったら夜の地温を25℃→20℃へ、夜の気温は18℃→13℃へと徐々に下げる。
- 接木は室温18℃以上で行なう。呼び接木やさし接木、また鉢やベットでの居接木等いずれの方法でも良い。
- 接木後の管理は他の台木と同様に行なう。短日の冬期は昼（28℃位）、夜（22℃位）の高気温と最低23℃位の地温で活着を促す。活着後は徐々に気温（夜温12℃位まで）、地温（夜間19℃位）を下げ、土壤水分も控え目に茎葉と根の充実を計る。徒長し易い時期や大苗育苗では途中から鉢間隔を広げるとよい。

### 育苗温度の管理の標準表（呼び接木）

	キュウリ播種		カボチャ播種		キュウリ発芽		カボチャ発芽		接木										断茎		定植																																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	24	25	26	27	28	29	30																																					
日数																																																																		
午前中	30℃		f.....→																												28℃																																			
午後前半	30℃		25		f.....→																												30		25		f.....→																												30	
	28℃		23		f.....→																												28		23		f.....→																												28	
午後後半	30℃		22		f.....→																												27		22		f.....→																												27	
	28℃		20		f.....→																												25		20		f.....→																												25	
夕方	20℃		19		18		17		16		15		14		13		20		以.....→																												20																			
	上		18		17		16		15		14		13		12		上		上																												上																			
夜温	20℃		18		16		14		12		11		12		22		16		15		14		13		12		11		10		16																																			
	上		11		11																								f.....→		14																																			
地温	30℃		25		23		21		20		19		18		17		25		23		22		21		20		18		17		17		18																																	
	28℃																												f.....→		上																																			
備考	多湿 → 乾燥気味に → 多湿 → 乾燥気味に → 多湿																																																																	